

丹後地域公民館だより

電話 0772-75-2111・69-0664 FAX 0772-75-2006 平成20年1月発行 第9号

第18回丹後町少年少女意見発表大会が行われました

丹後町青少年健全育成と環境浄化をすすめる会（会長：太下節雄氏）主催の、「第18回丹後町少年少女意見発表大会」が、平成20年1月12日（土）に丹後地域公民館大ホールで実施されました。当日は京丹後市教育委員会の引野恒司教育長他の方々を来賓として迎え、客席には250名を超える聴衆が参加しました。参加者たちは、子どもたちの意見発表に熱心に聞き入っていました。

大会では、丹後町コーラスすいせんの方々による合唱もあり、華やかに開会されました。

意見発表では、市内の小中学生14人がそれぞれの発表を行ったほか、今年度は京都府立網野高等学校間人分校の、橋本伊津美さんも発表されました。

間人小5年の田上嘉尉君は、学校で2学期に取り組んだ「地域お宝探検隊」について発表をしました。このなかで間人地域の「お宝」は、「海を大切にしようという心」、「間人の漁業にかかわる人々」、「高級なカニでブランドとなった間人という名前」を挙げ、「これらを守るため、ぼくたちにできることを考え、実行しましょう。」と呼びかけました。

宇川中2年の岩浪綾香さんは、自分自身の「夢」についての発表を行いました。小さい頃からお母さんのお手伝いをするうちに、料理が大好きになり、「調理師となる夢に向かって、くじけないよう頑張ろう。」との決意について発表を行いました。

網野高間人分校4年の橋本伊津美さんの発表は、自分自身の中学校での経験についてでした。この発表は、昨年11月24日に東京で行われた、第55回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会で、文部科学省初等中等教育局長賞及び大会会長奨励賞を受賞されたものです。

橋本さんが中学生の頃、保健室で1日を過ごしていたとき、お世話になった養護教諭の先生との交流や、高校入学をきっかけに家族や先生、クラスのみ



▲ 意見発表大会の様子（発表者：豊栄小6年の岡崎也実さん）



▲ 発表を行う橋本伊津美さん



▲ 丹後町コーラスすいせんの合唱

なさんの温かい支えの中で、課題を克服してきたことについて発表されました。最後には、自分の目標を定め生きる決意を述べられ、感動的な内容で発表が締めくくられました。

《第18回丹後町少年少女意見発表大会の発表者と題名（敬称略）》

学校名	学年	氏名	題名	学校名	学年	氏名	題名
豊栄小	5年	谷岡美穂	「気持ちの良いクラスに」	間人中	1年	川戸泰雅	「家族」
間人小	5年	田上嘉尉	「ぼくたちにできること」	宇川中	1年	和田麻緒	「世界の子供たち」
竹野小	5年	櫻井優也	「ごみを減らす」	間人中	2年	山田優美	「社会問題」
宇川小	5年	堀江健太	「ゴミを減らすためにできること」	宇川中	2年	岩浪綾香	「夢の第一歩」
豊栄小	6年	岡崎也実	「世界の子どもたちの願い」	間人中	3年	岡田知世	「私の成長」
間人小	6年	岡崎咲也香	「価値ある準優勝」	宇川中	3年	谷岡汐里	「学力低下に思う」
竹野小	6年	長門桃加	「みんなでふれ合える町に」	(特別参加)			
宇川小	6年	田中真琳	「命や生きるということ」				
				網野高 間人分校	4年	橋本伊津美	「変わらないもの」